

第16回 JOMF 特別セミナーのご案内：

満席になり次第受付を締め切らせていただきます
先着順早い者勝ち！！

『東南アジア及び中国の医療事情』

～拠点診療所報告・ベトナムとタイ医療事情プラス中国最新医療情報と食・水の安全～

海外邦人医療基金（JOMF）からのセミナー開催（大阪）に関するお知らせです。

弊基金では、2010年3月4日の試行開催以降、合計15回のJOMF特別企画セミナーを開催してまいりました。

今回は、先の海外医療情報交換会（10月24日東京実施）のフォローアップを大阪で実施します。但し、シンガポール、ジャカルタ、マニラの拠点医師4名と、今回初の試みとして海外からお招きしたホーチミンの白井先生@ロータスクリニック、バンコク病院の田中耕太郎さんが大阪での講演に参加できない為、如水会館で行われた際にアンプで録音された音声（きわめて明瞭です）に基づき、スライドショーの形式で行わざるを得ないのですが、『ライブ講演』として弊基金の宮本が8月25日に大阪で行われた海外勤務者健康管理全国協議会研修会の席上で講演をした内容『中国の最新医療事情と食・水の安全』を加えた形で実施することと致しました。

今回、東京でタイやベトナムから講師を招くことにしたのは、これまでの情報交換会やセミナーでのアンケートの中で、『拠点以外の国の医療事情』について聞きたいという声が多く、今回の情報交換会のアンケート結果でも、『中国』、『インド』、『カンボジア』、『ミャンマー』といった国に加えて、アフリカ諸国や中近東の医療事情についての情報をほしいという声が多数みられました。

基金では、今回の情報交換会の企画書を見て「面白い企画だ。来年度は私に発表させてほしい。」と手を挙げて下さったプノンペン奥澤先生を中心に、来年度も『海外医療事情』をメインテーマにして実施しようかと検討中ですが、一足早く、中国の感染症の現状、医療制度、薬剤の安全性に加えて、大気汚染（PM2.5問題）や水の汚染（都市水道の5割が不適格）、そして食品の安全性といったお話をする機会を設けました。

今回の情報交換会では、6つのプレゼン中3人の方がビデオ映像を活用されており、インパクトのあるプレゼンになっていたという点が好評でした。この点もご期待下さい。

尚、会場スペースの関係で、申込者数多数の場合は、基本的に先着順で閉め切り、満員になった際には、メールおよび弊基金のHPにてその旨お知らせいたします（案内状も含めて郵送はしません）。弊基金スタッフ一同、当日会場にて皆さま方とお会いできることを楽しみにしております。

日時：2012年12月12日（水）13：00開場（セミナー時間13：30～17：15）その後懇親会

会場：大阪商工会議所4F402号B会議室（所在地：大阪市中央区本町橋2-8）

TEL：06-6944-6268

地図URL：http://www.osaka.cci.or.jp/Shoukai/Map_Tel/shozaichi.html

定員：30名（Max.）

対象：JOMF会員（費用：無料）

申込：申込用紙にご記入の上、メール添付でお送り下さい。

プログラム（予定）：：

開演：主催者あいさつ 13：25～13：35（10分）

1. スライドショー（拠点医師音声つき）： 13：40～14：40（60分）

「拠点診療所報告」

*シンガポール日本人会クリニック医師： 日暮浩実 先生分

*マニラ日本人会診療所医師： 菊地宏久 先生分

*ジャカルタジャパングラブ医療相談室医師： 原 稔 先生分

*シンガポール日本人会クリニック医師(心療内科担当)： 日暮 真由美先生分

（休憩

14：40～14：55（15分）

2. スライドショー（拠点医師音声つき）： 14：55～16：25（90分）
 演題：『タイ医療事情』
 講師： バンコク病院 マーケティングエグゼクティブ 田中耕太郎氏分
 演題：『ベトナム医療事情』
 講師： ロータスクリニック院長 白井拓史先生分
3. 講演（ライブ）： 16：30～17：15（45分）
 「中国の最新医療事情と食・水の安全」
 財団法人 海外邦人医療基金 業務部 宮本昌和
4. アンケート回収
5. 懇親会 17:15～19:00 頃まで

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

講師ご紹介

【宮本昌和について】（海外邦人医療基金 URL：<http://www.jomf.or.jp/>）



プロフィール：

- ・1956年 大阪生まれ
- ・1980年 上智大学外国語学部英語学科卒業
- ・1980年 松下電器産業株式会社に入社 宣伝（海外向け企業広告、ブランド広告、商品 宣伝）、中国向けビデオの広告で中国と出会い、ビデオ中国生産のプロジェクトに参加した後に海外部門の一地域本部である中国本部にてシステム機器の納入から入札等を経験、
- ・2000年北京の松下電器（中国）にソリューションセンター設立のため赴任、現地の空港システムの入札を中心として日中間のコミュニケーション確立にあたる。
- ・2003年帰国後、ベトナム・台湾・スペインのトンネルプロジェクトの開発並びに ISO9001 内部監査、プロジェクトマネジメント（PM）について学び全社の PM アソシエーションメンバーとして、また、部門への PM のメンター制度導入並びに PM 研修事務局を務める、
- ・2005年より台湾新幹線プロジェクトの契約内容の分析に端を發し、税務対策の手段として現地に PE を設立するにあたり、経理部門・法務部門の要請もあり当該プロジェクトの法務・個人所得税や印紙税などの税務面の支柱として台北と日本の往復を 3 年繰り返すが、この間、部門のコンプライアンス取締役、法務責任者、追加契約の交渉と締結に携わる、
- ・2009年 4 月より海外邦人医療基金に出向後は、会員企業からのクレーム、ご要望などに耳を傾けた結果、医療情報の収集と発信の一環として、ミニ・セミナーを 2010 年 3 月に開始することになり、同年秋からは情報交換会も担当することとなる。
- ・2009年 GW 期にメキシコに端を發した新型インフルエンザに関する中国衛生部のプレスリリースを翻訳したのを契機に、中国の医療事情に関する情報の収集と発信を個人ボランティアベースで開始、現時点での中国衛生部情報メールの購読者数は 780 人、これまでの翻訳情報の発信数は 1000 本を超えた。
- ・2010年よりシンガポール拠点の担当となり、同時にベトナム、カンボジア、ミャンマー、タイ、インドネシアの医療関係者とのコミュニケーションパイプを構築し、現在に至る。

認定資格：

ISO9001 内部監査委員、中高校英語教員、中型自動車運転免許（要するに一般人です）

インタビュー：

サラヤ株式会社様の健康経営ジャーナル

他団体のセミナー：

航仁会西新橋クリニックのタイ洪水対策セミナーでパネル討論のパネラー、

海外勤務者健康管理全国協議会研修会の講師

著作：

エッセー「中国に赴任される方々へのアドバイス」（非売品として一部配布、現在進行形）

（ほかに医療関係雑誌に中国医療事情に関する原稿を現在執筆中）